

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公表番号】特表2009-515995(P2009-515995A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-541376(P2008-541376)

【国際特許分類】

C 07 D 487/04	(2006.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 17/06	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 K 31/53	(2006.01)
A 61 K 31/5585	(2006.01)
A 61 K 31/5377	(2006.01)
A 61 K 31/5375	(2006.01)
A 61 K 31/538	(2006.01)
A 61 K 45/00	(2006.01)

【F I】

C 07 D 487/04	1 4 0
C 07 D 487/04	C S P
A 61 P 35/00	
A 61 P 17/06	
A 61 P 29/00	1 0 1
A 61 P 43/00	1 1 1
A 61 K 31/53	
A 61 K 31/5585	
A 61 K 31/5377	
A 61 K 31/5375	
A 61 K 31/538	
A 61 K 45/00	

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月5日(2009.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

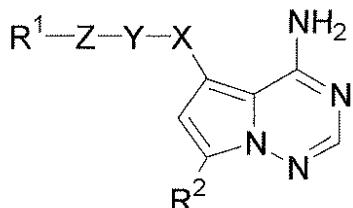
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

## 【化1】



(I)

[式中、

Xは、直結、-C=O-、または-CH-OHであり；

Yは、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>6</sub>～C<sub>10</sub>アリール、5～13員ヘテロ芳香環、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>アルキル、または4～8員ヘテロアルキル環であり、該Y基の各々は適宜、ハロゲン、-OH、アルキル、置換アルキル、-CN、-NH<sub>2</sub>、-CONHR<sup>3</sup>、-OC(=O)NR<sup>3</sup>、-CONHSO<sub>2</sub>R<sup>3</sup>、-NHCONHR<sup>3</sup>、-CH<sub>2</sub>OR<sup>3</sup>、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、アルコキシ、置換アルコキシ、アリール、置換アリール、アリールオキシ、置換アリールオキシ、-CF<sub>3</sub>、および-OCF<sub>3</sub>からなる群から選ばれる1～3個の基で置換され、そして、それらのうちの2つは得られる化合物が化学的に安定であるという条件で同じ環内炭素原子と結合し得て；

Zは、-(CH<sub>2</sub>)<sub>p</sub>-（ここで、pは0～5個の整数である）、-O-、-S-、-S(O)-、-S(O)<sub>2</sub>-、-S(O)<sub>2</sub>NR<sup>4</sup>-、-NR<sup>4</sup>-、-NR<sup>4</sup>SO<sub>2</sub>-、-NR<sup>4</sup>C(=O)-、-NR<sup>4</sup>C(=O)NR<sup>5</sup>-、-NR<sup>4</sup>C(=NH)NR<sup>5</sup>-、-NR<sup>4</sup>C(=N-CN)NR<sup>5</sup>-、-NR<sup>4</sup>C(=N-OR<sup>6</sup>)NR<sup>5</sup>-、-NR<sup>4</sup>S(=O)NR<sup>5</sup>-、-NR<sup>4</sup>SO<sub>2</sub>NR<sup>5</sup>-、-NR<sup>4</sup>SO<sub>2</sub>CHR<sup>5</sup>-、-CHR<sup>4</sup>SO<sub>2</sub>NR<sup>5</sup>-、-NR<sup>4</sup>SO<sub>2</sub>-、-NR<sup>4</sup>C(=O)O-、-OC(=O)NR-、-CHR<sup>4</sup>C(=O)NR<sup>5</sup>-、-NR<sup>4</sup>C(=O)CHR<sup>5</sup>-、-CHR<sup>4</sup>NR<sup>5</sup>C(=O)-、-C(=O)NR<sup>4</sup>CHR<sup>5</sup>-、-CHR<sup>4</sup>NSO<sub>2</sub>-、-CHR<sup>4</sup>C(=N-OR)-、-CHR<sup>4</sup>C(=N-O)NR<sup>5</sup>-、-CHR<sup>4</sup>SO<sub>2</sub>NR<sup>5</sup>-、-C(=O)-NR<sup>4</sup>C(=O)-、-CHR<sup>4</sup>C(=O)NR<sup>5</sup>C(=O)-、または-NR<sup>4</sup>C(=O)NR<sup>5</sup>C(=O)-であり、

ここで、R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>、およびR<sup>6</sup>基の各々は独立して、H、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>6</sub>シクロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アシル、C<sub>6</sub>-芳香族基、または5もしくは6員ヘテロ芳香族基から選ばれ、該R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>、およびR<sup>6</sup>基の各々は独立して、適宜1～3個のハロゲン原子、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>6</sub>シクロアルキル、またはC<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシで置換され；

R<sup>1</sup>は、H、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、アリールアルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>9</sub>～C<sub>14</sub>ビシクロアルキル、C<sub>6</sub>～C<sub>10</sub>アリール、C<sub>5</sub>～C<sub>13</sub>ヘテロアリール、C<sub>4</sub>～C<sub>12</sub>ヘテロサイクリル、または3～8員ヘテロシクロアルキルであり、該基の各々は適宜、ハロゲン、-OH、-OR<sup>7</sup>、-C(=O)OR<sup>7</sup>-、-S(=O)NHR<sup>7</sup>、-SO<sub>2</sub>NHR<sup>7</sup>、-SO<sub>2</sub>R<sup>7</sup>、アルキル、置換アルキル、-CN、-NHR<sup>7</sup>、-CONHR<sup>7</sup>、-OC(=O)NR<sup>7</sup>、-CONHSO<sub>2</sub>R<sup>7</sup>、-NHCONHR<sup>7</sup>、-CH<sub>2</sub>OR<sup>7</sup>、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、アルコキシ、置換アルコキシ、アリール、置換アリールからなる群から選ばれる1～3個の基で置換され；

ここで、R<sup>7</sup>は、水素、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>6</sub>シクロアルキル、アリール、アリールアルキル、ヘテロアリール、ヘテロサイクリル、アリールオキシ、置換アリールオキシ、-CF<sub>3</sub>、または-OCF<sub>3</sub>であって、これらのうちの2つは、得られる化合物が化学的に安定であるという条件で同じ炭素原子と結合し得て；

R<sup>2</sup>は、H、ハロゲン、-NR<sup>8</sup>R<sup>9</sup>、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルケニル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、アリールアルキル、または環上の少なくとも1つの原子が窒素原子もしくは酸素原子から選ばれるC<sub>4</sub>～C<sub>8</sub>ヘテロサイクリ

ルであり、該  $R^2$  基の各々は適宜、-OH、OR<sup>8</sup>、-NH<sub>2</sub>、-NR<sup>8</sup>R<sup>9</sup>、-CONHR<sup>8</sup>、-OCOCONHR<sup>8</sup>、-CONHSO<sub>2</sub>R<sup>8</sup>、-NHC CONHR<sup>8</sup>、-SR<sup>8</sup>、-S(=O)R<sup>8</sup>、-SO<sub>2</sub>R<sup>8</sup>、および-SO<sub>2</sub>-NR<sup>8</sup>R<sup>9</sup>からなる群から選ばれる1~3個の基で置換され；

$R^8$  は、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>シクロアルキル、または適宜置換されたアリール基もしくはヘテロアリール基であり、該置換アリール基または置換ヘテロアリール基上の置換基は、1個以上の水素、ハロゲン、アルキル、置換アルキル、アルキニル、置換アルキニル、アルコキシ、置換アルコキシ、アリール、置換アリール、アリールアルキル、置換アリールアルキル、アリールオキシ、および置換アリールオキシからなる群から選ばれて；

$R^9$  は、水素、ハロゲン、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>シクロアルキル、またはC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルコキシであるか；あるいは、

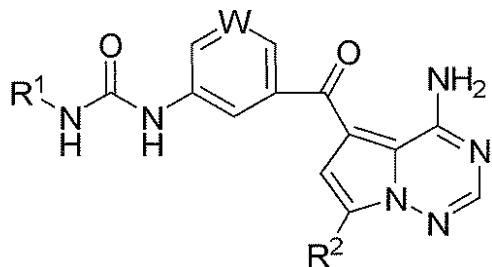
$R^8$  および  $R^9$  はそれらが結合する窒素原子と一緒にになって、適宜置換されたヘテロサイクリル環を形成し得る】

で示される化合物、またはその医薬的に許容し得る塩もしくは立体異性体。

【請求項2】

式(II)：

【化2】



(II)

[式中、

Wは、-CR<sup>9</sup>-または-N-であり；

$R^1$  は、H、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、アリールアルキル、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>9</sub>~C<sub>14</sub>ビシクロアルキル、C<sub>6</sub>~C<sub>10</sub>アリール、C<sub>5</sub>~C<sub>13</sub>ヘテロアリール、C<sub>4</sub>~C<sub>12</sub>ヘテロサイクリル、または3~8員ヘテロシクロアルキルであり、該基の各々は適宜、ハロゲン、-OH、-OR<sup>7</sup>、-C(=O)OR<sup>7</sup>、-S(=O)NHR<sup>7</sup>、-SO<sub>2</sub>NHR<sup>7</sup>、-SO<sub>2</sub>R<sup>7</sup>、アルキル、置換アルキル、-CN、-NHR<sup>7</sup>、-CONHR<sup>7</sup>、-OCOCONHR<sup>7</sup>、-CONHSO<sub>2</sub>R<sup>7</sup>、-NHC CONHR<sup>7</sup>、-CH<sub>2</sub>OR<sup>7</sup>、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、アルコキシ、置換アルコキシ、アリール、および置換アリールからなる群から選ばれる1~3個の基で置換され；

$R^7$  は、水素、C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>シクロアルキル、アリール、アリールアルキル、ヘテロアリール、ヘテロサイクリル、アリールオキシ、置換アリールオキシ、-CF<sub>3</sub>、または-OCF<sub>3</sub>であって、これらのうちの2つは、得られる化合物が化学的に安定であるという条件で同じ炭素原子と結合し得て；

$R^2$  は、水素、ハロゲン、-NR<sup>8</sup>R<sup>9</sup>、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルケニル、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>シクロアルキル、アリールアルキル、または環上の少なくとも1つの原子は窒素原子もしくは酸素原子から選ばれるC<sub>4</sub>~C<sub>8</sub>ヘテロサイクリルであり、該  $R^2$  基の各々は適宜、-OH、OR<sup>8</sup>、-NH<sub>2</sub>、-NR<sup>8</sup>R<sup>9</sup>、-CONHR<sup>8</sup>、-OCOCONHR<sup>8</sup>、-CONHSO<sub>2</sub>R<sup>8</sup>、-NHC CONHR<sup>8</sup>、-SR<sup>8</sup>、-S(=O)R<sup>8</sup>、-SO<sub>2</sub>R<sup>8</sup>、および-SO<sub>2</sub>-NR<sup>8</sup>R<sup>9</sup>からなる群から選ばれる1~3個の基で置換され；

$R^8$  は、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>シクロアルキル、または適宜置換されたアリ

ール基もしくはヘテロアリール基であり、該置換アリール基または置換ヘテロアリール基上の該置換基は、1個以上の水素、ハロゲン、アルキル、置換アルキル、アルキニル、置換アルキニル、アルコキシ、置換アルコキシ、アリール、置換アリール、アリールアルキル、置換アリールアルキル、アリールオキシ、および置換アリールオキシからなる群から選ばれて；

R<sup>9</sup>は、水素、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>6</sub>シクロアルキル、またはC<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシであるか；あるいは、

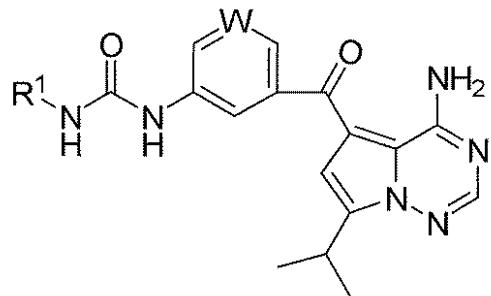
R<sup>8</sup>およびR<sup>9</sup>はそれらが結合する窒素原子と一緒にになって、適宜置換されたヘテロサイクリル環を形成する]

で示される化合物、またはその医薬的に許容し得る塩もしくは立体異性体。

【請求項3】

式(I II)：

【化3】



(III)

[式中、

Wは、-CR<sup>9</sup>-または-N-であり；

R<sup>1</sup>は、H、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、アリールアルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>9</sub>～C<sub>14</sub>ビシクロアルキル、C<sub>6</sub>～C<sub>10</sub>アリール、C<sub>5</sub>～C<sub>13</sub>ヘテロアリール、C<sub>4</sub>～C<sub>12</sub>ヘテロサイクリル、または3～8員ヘテロシクロアルキルであり、該基の各々は適宜、ハロゲン、-OH、-OR<sup>7</sup>、-C(=O)OR<sup>7</sup>、-S(=O)NHR<sup>7</sup>、-SO<sub>2</sub>NHR<sup>7</sup>、-SO<sub>2</sub>OR<sup>7</sup>、アルキル、置換アルキル、-CN、-NHR<sup>7</sup>、-CONHR<sup>7</sup>、-OCOCONHR<sup>7</sup>、-CONHSO<sub>2</sub>R<sup>7</sup>、-NHCONHR<sup>7</sup>、-CH<sub>2</sub>OR<sup>7</sup>、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、アルコキシ、置換アルコキシ、アリール、および置換アリールからなる群から選ばれる1～3個の基で置換され；

R<sup>7</sup>は、水素、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>6</sub>シクロアルキル、アリール、アリールアルキル、ヘテロアリール、ヘテロサイクリル、アリールオキシ、置換アリールオキシ、-CF<sub>3</sub>、または-OCF<sub>3</sub>であり、これらのうちの2つは、得られる化合物が化学的に安定であるという条件で同じ炭素原子と結合し得る]

で示される化合物、またはその医薬的に許容し得る塩もしくは立体異性体。

【請求項4】

1-(5-{{[4-アミノ-7-(1-メチルエチル)ピロロ[2,1-f][1,2,4]トリアジン-5-イル]カルボニル}-3-ピリジニル)-3-(2,4-ジクロロフェニル)ウレア；

1-(3-{{[4-アミノ-7-(1-メチルエチル)ピロロ[2,1-f][1,2,4]トリアジン-5-イル]カルボニル}フェニル)-3-[3-(1,1-ジメチルエチル)-1-メチル-1H-ピラゾール-5-イル]ウレア；

1-(5-{{[4-アミノ-7-(1-メチルエチル)ピロロ[2,1-f][1,2,4]トリアジン-5-イル]カルボニル}-3-ピリジニル)-3-(2,4-ジフルオロフェニル)ウレア；

1-(5-{{[4-アミノ-7-(1-メチルエチル)ピロロ[2,1-f][1,2,4]トリアジン-5-イル]カルボニル}-3-ピリジニル)-3-(2-フルオロフェニル)ウレア；

1 - ( 3 - { [ 4 - アミノ - 7 - ( 1 - メチルエチル) ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル] カルボニル} フェニル) - 3 - ( 3 - シクロプロピル - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 5 - イル) ウレア ;

1 - ( 5 - { [ 4 - アミノ - 7 - ( 1 - メチルエチル) ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル] カルボニル} - 3 - ピリジニル) - 3 - ( 4 - クロロフェニル) ウレア ;

1 - ( 5 - { [ 4 - アミノ - 7 - ( 1 - メチルエチル) ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル] カルボニル} - 3 - ピリジニル) - 3 - ( 2 - シアノフェニル) ウレア ;

1 - ( 5 - { [ 4 - アミノ - 7 - ( 1 - メチルエチル) ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル] カルボニル} - 3 - ピリジニル) - 3 - [ 1 - メチル - 3 - ( 1 - メチルエチル) - 1 H - ピラゾール - 5 - イル] ウレア ;

1 - [ 5 - ( { 4 - アミノ - 7 - [ 3 - ( ジメチルアミノ) - 1 - プロピン - 1 - イル] ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル} カルボニル) - 3 - ピリジニル] - 3 - ( 2 , 4 - ジクロロフェニル) ウレア ;

1 - ( 5 - { [ 4 - アミノ - 7 - ( 1 - メチルエチル) ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル] カルボニル} - 3 - ピリジニル) - 3 - [ 2 - ( トリフルオロメチル) フェニル] ウレア ;

1 - ( 3 - ( 4 - アミノ - 7 - ( 3 - ( ジメチルアミノ) プロパ - 1 - イニル) ピロ口 [ 1 , 2 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - カルボニル) フェニル) - 3 - ( 2 , 4 - ジクロロフェニル) ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - [ 4 - ( トリフルオロメチル) フェニル] ウレア ;

1 - ( 3 - { [ 4 - アミノ - 7 - ( 1 - メチルエチル) ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル] カルボニル} フェニル) - 3 - [ 3 - ( 1 , 1 - ジメチルエチル) - 1 - ( 2 - ヒドロキシエチル) - 1 H - ピラゾール - 5 - イル] ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - ( 4 - プロモフェニル) ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - プロモピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - ( 3 - シクロプロピル - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 5 - イル) ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - プロモピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - ( 2 , 4 - ジクロロフェニル) ウレア ;

1 - ( 3 - { [ 4 - アミノ - 7 - ( 1 - メチルエチル) ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル] カルボニル} フェニル) - 3 - { 3 - シクロプロピル - 1 - [ 2 - ( 4 - モルホリニル) エチル] - 1 H - ピラゾール - 5 - イル} ウレア ;

1 - ( 5 - { [ 4 - アミノ - 7 - ( 1 - メチルエチル) ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル] カルボニル} - 3 - ピリジニル) - 3 - [ 4 - ( ジメチルアミノ) フェニル] ウレア ;

1 - [ 3 - ( { 4 - アミノ - 7 - [ 3 - ( ジメチルアミノ) - 1 - プロピン - 1 - イル] ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル} カルボニル) フェニル] - 3 - ( 3 - シクロプロピル - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 5 - イル) ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピルピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - ( 2 , 4 - ジクロロフェニル) ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - フェニルウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - ( 2 - メトキシフェニル) ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - [ 2 - ( トリフルオロメチル) フェニル] ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロ口 [ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル) カルボニル] フェニル} - 3 - ( 3 - メトキシフェニル) ウレア ;

1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ( 3 - メチルフェニル ) ウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ( 4 - フルオロフェニル ) ウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ( 4 - フェノキシフェニル ) ウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ( 2 , 4 - ジメチルフェニル ) ウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ( 1 - ナフチル ) ウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - [ 4 - ( ジメチルアミノ ) フェニル ] ウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - [ 4 - ( ベンジルオキシ ) フェニル ] ウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ピリジン - 3 - イルウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ( 1 , 3 - ベンゾジオキソール - 5 - イル ) ウレア ;  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ( 2 - ナフチル ) ウレア ; および、  
 1 - { 3 - [ ( 4 - アミノ - 7 - イソプロピル - ピロロ[ 2 , 1 - f ] [ 1 , 2 , 4 ] トリアジン - 5 - イル ) カルボニル ] フェニル } - 3 - ピフェニル - 2 - イルウレア ;  
 からなる群から選ばれる化合物、またはそれらの医薬的に許容し得る塩。

#### 【請求項 5】

治療学的に有効な量の 1 個以上の請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の化合物および医薬的に許容し得る担体を含有する医薬組成物。

#### 【請求項 6】

治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物および医薬的に許容し得る担体を含有する、処置が必要な哺乳動物における増殖性疾患を処置するための医薬組成物。

#### 【請求項 7】

増殖性疾患は、癌、乾癬、および関節リウマチからなる群から選ばれる、請求項 6 記載の医薬組成物。

#### 【請求項 8】

増殖性疾患は癌である、請求項 7 記載の医薬組成物。

#### 【請求項 9】

癌は、前立腺、膀胱腺、乳、大腸、肺、卵巣、脾臓および甲状腺の癌腫、並びに神経芽細胞腫、グリア芽細胞腫、髄芽細胞腫、メラノーマ、多発性骨髄腫、および急性骨髄性白血病 ( A M L ) からなる群から選ばれる、請求項 8 記載の医薬組成物。

#### 【請求項 10】

更に 1 個以上の他の抗癌剤または細胞毒性剤を含有する、請求項 6 ~ 9 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

#### 【請求項 11】

治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物および医薬的に許容し得る担体を含有する、処置が必要な哺乳動物における受容体型チロシンキナーゼ活性を変調するための医薬組成物。

#### 【請求項 12】

該受容体型チロシンキナーゼは T r k A 、 T r k B 、 T r k C 、または F l t - 3 の 1 個以上である、請求項 11 記載の医薬組成物。

#### 【請求項 13】

治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物と治療学的に有効な量の 1 個以上の他の抗癌剤または細胞毒性剤との組み合わせを含む、処置が必要な哺乳動物における増殖性疾患を処置するための剤。

【請求項 1 4】

請求項 1 記載の化合物および他の抗癌剤または細胞毒性剤を該哺乳動物に同時または連続的に投与する、請求項 1 3 記載の剤。

【請求項 1 5】

治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物と治療学的に有効な量の 1 個以上の他の抗癌剤または細胞毒性剤との組み合わせを含む、処置が必要な哺乳動物における受容体型チロシンキナーゼ活性を変調するための剤。

【請求項 1 6】

請求項 1 記載の化合物および他の抗癌剤または細胞毒性剤を該哺乳動物に同時または連続的に投与する、請求項 1 5 記載の剤。